

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
1 いつでもどこでも相談できる仕組みづくり	1 —— 1 なんでも相談できる	福祉総合相談窓口	子どもから高齢者まで障害の有無にかかわらず、多様な福祉に関する相談に対応し、関係機関や福祉なんでも相談窓口と連携し、問題を解決できるよう支援する。	市民にとって身近な相談場所である、福祉なんでも相談窓口の周知が進んだことにより、市役所まで来庁されなくても相談ができる体制が整った。	宇部市地域福祉課
		高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）	高齢者が住み慣れた地域で生活できるように、元気な人から介護の必要な人まで、健康の維持・保健・医療・福祉の向上のための様々な相談を幅広く受け付け、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、「チーム」として総合的に支援する。	関係機関とのネットワークづくりや多職種での研修等を通じて、多様な相談内容に対する支援体制を確保した。	宇部市高齢福祉課
		障害者相談支援	障害者や家族などからの様々な相談内容に応じて、サービス事業所や保健・医療・福祉の関係機関との連携を図り、障害者相談員などの身近な相談窓口や専門的な相談機関に至る総合的な相談支援体制を充実する。	障害者等からの相談に応じ、地域における生活を支援することにより、障害者等の自立と社会参加の促進を図った。	宇部市障害福祉課
		子育て世代包括支援センターUbeハピ	親子健康手帳交付時に、専門職が面接相談を実施し、妊婦の不安解消を図る。ハイリスク妊婦への把握に努め、関係機関と連携して、安心して妊娠期を過ごし、安全に出産できるよう適切な支援を実施する。	産前2回の面談を通じて把握したハイリスク者に対し、マタニティサロンや妊娠期の訪問等の支援につなげることができ、産後も専門職が早期に訪問する等、切れ目のない支援につなげることができた。	宇部市こども支援課
		ひとり親家庭等相談窓口	母子・父子自立支援員が、子育て・生活、就業、養育費確保などの諸課題について、助言、指導及び関係機関の紹介など総合的な支援をワンストップで行う。	母子・父子自立支援員が、子育てや就業、養育費確保などの諸課題について、一人ひとりに寄り添い問題解決に繋げた。	宇部市こども政策課
		心配ごと相談事業	高齢者や障害者などが家庭や地域で生活する中で生じる様々な悩みや困りごとなどに対応できる相談窓口を開設し、助言・指導及び地域の社会資源や専門機関などにつなぐ調整等の相談支援を行う。	高齢者や障害者等が家庭や地域で生活する中で生じる様々な悩みや困りごと等に対応できる相談窓口を開設し、助言・指導及び地域の社会資源や専門機関などにつなぐ調整等の相談支援を行った。	宇部市社会福祉協議会
		こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいる全家庭を訪問し、親子が心身ともに健康で過ごせるように支援する。	妊娠期において把握したリスクに応じ、市専門職や赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、母子に面談。子育て期の悩みに寄り添い様々な支援につなげることができた。	宇部市こども支援課
	1 —— 2 いつでもすぐに情報が受け取れる	広報紙・ホームページ・メールサービス・LINEによる周知	様々な地域福祉の活動をより多くの市民に周知するために、「広報うべ」や「うべし社協だより」、ウェブサイト、メールサービス、SNS等を活用して、積極的な情報発信に取り組む。また、「広報うべ」や「うべし社協だより」では、重度視覚障害者の方を対象に、点字や音声版も発行する。	各種事業の制度や参加者の募集の情報を、「広報うべ」やウェブサイト、メールサービス、SNS等を活用して、積極的に情報発信した。また、広報紙のデザインやレイアウト変更や新たな媒体を活用した情報発信に取り組んだ。	宇部市関係課 宇部市社会福祉協議会
		市政出前講座の開催	市の行う様々な施策や事業について理解を深めて、まちづくりに参加しするために、自治会や市民等で構成される団体に市職員を講師として派遣し、担当分野の情報をわかりやすく提供する。	自治会や団体等からの要望に応じて、「災害」、「権利擁護」、「高齢福祉」、「介護」などのあらゆる分野で市職員を講師として派遣し、担当分野の情報を提供し、市民意識の醸成に努めた。	宇部市関係課
		民生委員・児童委員活動	社会福祉の制度やサービスについて、個別訪問により必要な支援の情報収集、提供を行う。	定期的な見守り活動や聞き取り調査を通して住民の実態や福祉ニーズを把握し、行政機関、施設・団体などに繋いだ。	宇部市地域福祉課
		福祉委員活動推進事業	地域の実情に応じて「福祉委員だより手渡し運動」等により、健康・福祉に関する情報や地域の情報を伝える。	「福祉委員だより手渡し運動」の実施、「宇部市地区福祉委員会連絡協議会」の運営、「ふくし連絡票」の活用を進めていき、小地域におけるネットワークづくりや地域支え合い包括ケアシステムの構築を推進した。なお、実施にあたっては地区社会福祉協議会や民生委員等地域団体、地域包括支援センターや健康増進課専門職または地域支援員と連携を取り進めた。	宇部市社会福祉協議会
		手話通訳者設置事業	聴覚障害者の社会的自立を支援し、社会生活の円滑化を図るための専任の手話通訳者を社会福祉協議会に配置する。	専任の手話通訳者を社会福祉協議会に設置し、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の選択と利用の機会を確保し、聴覚障害者の社会的自立を支援し、社会生活の円滑化を図るとともに、障害特性への市民の理解を促進した。	宇部市障害福祉課
		要約筆記奉仕員の派遣	聴覚障害者の社会的自立を支援し、社会生活の円滑化を図るための専任の手話通訳者を社会福祉協議会に配置します。また、聴覚障害者のコミュニケーションの円滑化を図るため、手話通訳者や要約筆記奉仕員を派遣する。	要約筆記奉仕員を派遣することにより、聴覚障害者の社会的自立を支援し、コミュニケーションの円滑化を図るとともに、障害特性への市民の理解を促進した。	宇部市障害福祉課
		手話奉仕員派遣事業	聴覚障害者の社会的自立を支援し、社会生活の円滑化を図るための専任の手話通訳者を社会福祉協議会に配置します。また、聴覚障害者のコミュニケーションの円滑化を図るため、手話通訳者や要約筆記奉仕員を派遣する。	手話奉仕員を派遣することにより、聴覚障害者の社会的自立を支援し、コミュニケーションの円滑化を図るとともに、障害特性への市民の理解を促進した。	宇部市障害福祉課

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
1 いつでもどこでも相談できる仕組みづくり	1―2 いつでもすぐに情報が受け取れる	コミュニケーション支援員設置	市役所窓口に、手話通訳をはじめとする障害者のコミュニケーション支援を行う支援員を配置する。	市の窓口到手話のできるコミュニケーション支援員を設置し、障害のある人へのコミュニケーションを支援し手続きの便宜を図るとともに、障害者理解促進と差別解消を促進した。	宇部市障害福祉課
		コミュニケーション支援促進助成	市内の事業者や市民活動団体等がコミュニケーション支援を実施するための費用を助成する。	手話通訳者の設置やコミュニケーションに必要な物品の購入費用等を事業所等に助成し、障害のある人への合理的配慮の提供を支援した。	宇部市障害福祉課
		点訳・音訳	視覚障害者へ市政情報を提供するため、「広報うべ」や「議会だより」等の点字・音訳版を作成し配布する。	視覚障害者へ市政情報を提供するため、「広報うべ」や「議会だより」の点字・音訳版を作成し配布するとともに、市から発送する文書の点字・音訳版を作成した。	宇部市障害福祉課
		宇部市保健・医療・福祉サービス調整推進会議、ブロック会議	多職種協働による地域の事例検討・ネットワーク構築・情報共有等を通じて問題点を把握し、高齢者に適切なサービス・仕組みづくりを総合的に調整・推進する地域ケア会議です。この会議を通じて、関係機関と連携をとりながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう検討します。実務者で検討するブロック会議と各団体の代表者で検討するサービス調整推進会議を行う。	令和5年度以降、従来の集合形式での開催となり、開催回数、参加人数も増加した。出てきた地域課題についての協議や解決に向けての取組の検討の場となっている。	宇部市高齢福祉課
		地域自立支援協議会・障がい等地域支援ブロック会議	障害者支援に携わる関係者が支援に向けた連携を図り、個別事例から求められる地域の課題を共有するためにブロック会議を開催するとともに、相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりに関し、障害当事者、民間有識者等の幅広い意見を反映させ、困難事例への対応のあり方や、地域の情報と課題を共有するための協議会を開催する。	ブロック会議では、個別事例から抽出された地域課題を関係者で共有し検討を行った。また、事例検討を行い、支援者の資質の向上を図った。地域自立支援協議会を開催し、地域課題の解決のための検討を行った。	宇部市障害福祉課
		支援調整会議の開催	生活困窮者自立支援事業において、関係機関の支援者が相談者の自立に向けた支援プランについて情報共有を行い、支援内容が適切であるか協議し、支援が終わった場合に支援の評価を行う支援調整会議を開催する。	一人ひとりの状況を把握（アセスメント）した上で、本人とともに作成したプラン案の方向性や支援内容を検討。関係者で相談支援の適切性を全体的に評価する中で、長期的な伴走支援の視点・自ら情報を取りに行くアウトリーチによるプラン案作成を図ることができた。	宇部市地域福祉課
		人権学習会の開催	市民宣言にうたわれている「人間が尊重される都市づくり」をめざし、様々な場を通じて、市民一人ひとりの人権尊重の意識を高める人権教育を推進しています。この取り組みを確かなものとするために、広く市民を対象とした「人権を考えるつどい」や人権に関する効果的な指導や適切な助言を行う指導者を養成する「人権セミナー」を実施する。	コロナ禍以降、対面だけでなく、リモートによる受講方式を取り入れた結果、受講者数が増加した。地域や企業、学校など多くの市民が参加することにより、個別の人権課題に対する理解と共感を得られた。	宇部市教育委員会 人権教育課
		福祉学習の推進	思いやりの心を育むとともに、社会参加への理解と関心を高めるために、あいさポーター研修（障害の理解）・手話体験学習・車いす体験学習・高齢者疑似体験等、学校や地域等で福祉学習・体験学習を実施する。	地域住民に幅広くボランティア活動、福祉活動についての学びの場を確立し、地域福祉ニーズに対応できる人材やその地域におけるリーダー養成につなげることを目的に地域住民への福祉に関する講習会の開催や関係機関・団体等が主催する講座への支援を行った。	宇部市社会福祉協議会
		地域福祉に関する研修会の開催	市民や地域福祉活動者を対象に、市民フォーラムや研修会を開催し、地域福祉に関する情報共有・意識醸成を図る。	市民や地域福祉活動者を対象に、市民フォーラムや研修会を開催し、地域福祉に関する情報共有・意識醸成を図った。	宇部市社会福祉協議会
		バリアフリー化の促進	宇部市バリアフリー化マスタープランに基づき、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進する。	宇部市バリアフリー化マスタープラン等に基づき、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進した。バリアフリー関連事業の各課の実施状況を宇部市バリアフリー化推進連絡協議会で報告・情報共有した。	宇部市障害福祉課
		宇部市社会福祉大会の開催	永年にわたり社会福祉の発展に尽力された方々を表彰するとともに、地域で社会福祉に携わる関係者が一堂に会し、より一層総力を結集し、宇部市の社会福祉の更なる充実を目指すことを目的に開催。	地域福祉を支えてきた永年活動者に対する表彰とともに、大会を通じて、地域福祉の現状や課題、重要性について広く一般市民や関係者の意識醸成を図った。	宇部市社会福祉協議会

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
2 誰もが参加し、 支援しあえる地域づくり	2 ― 1 誰でも担い手になれる	認知症サポーターの養成	認知症を正しく理解し、認知症高齢者やその家族を見守り、自分のできる範囲で支援する「認知症サポーター」の養成を推進する。	コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、認知症サポーター養成講座の開催回数が減少したが、現在では開催回数や養成者数がコロナ前の水準まで回復した。特に、小・中学生を対象とした養成講座の実施回数が増加しており、学校での講座を通じて児童・生徒が認知症を理解し、高齢者とのコミュニケーションや支援の重要性を学ぶ機会が増えた。この取組により、児童・生徒が高齢者への理解を深め、地域の見守り活動にも貢献している。	宇部市高齢福祉課
		コミュニケーション支援人材育成助成事業	障害者にとって必要なコミュニケーション支援員の養成を行うとともに、コミュニケーション支援員の資格取得に必要な費用を助成するなどして、障害者の自立と社会参加の促進を図り、市民の障害者への理解を深める。	障害のある人へのコミュニケーション支援に関する資格取得に要した経費を助成することにより、コミュニケーション支援を行う人材を確保した。	宇部市障害福祉課
		ボランティア養成事業	ボランティア講座、手話奉仕員、障害者のための情報通信機器の操作支援ボランティア養成講座等を開催し、ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、ボランティア団体の活動周知、仲間づくりの支援を行い、専門職や若い人材等の幅広い参加促進を図る。	手話通訳や、広報等市の文書の点訳・音訳を作成するため、奉仕員成講座を開催し、人材を確保した。	宇部市障害福祉課
		あいサポーターの養成事業	障害の内容・特性や、障害のある方が困っていること、障害のある方への必要な配慮などを理解して、障害のある方に対してちょっとした手助けや配慮する運動（あいサポート運動）の啓発を行い、あいサポーターを養成する。	山口県が進める「あいサポート運動」に協力し、市内で依頼があった際に講師を担い、障がい者の理解促進を進めた。	宇部市社会福祉協議会
		ゲートキーパーの養成	ゲートキーパー（悩んでいる人に気づき、話を聞き、必要な支援につなげたり、見守る人）講座を開催し、適切な対応を図ることができる人材を養成する。	地域団体や職場、大学生などにを対象に講座を開催し、悩みを持つ人に対し、適切に対応できる人材を養成した。	宇部市健康増進課
		健幸アンバサダーの養成	必要かつ正確な健康情報を、健康づくりに無関心な層も含め、多くの地域住民に対して、「心に届く情報として」伝え拡散する伝道師（インフルエンサー）を養成し、人および都市の「健幸」を達成する。	健幸アンバサダーを養成し、健康情報を健康づくり無関心層も含め、多くの地域住民に対して伝え拡散する等の活動を実施した。	宇部市健康増進課
		子育てパートナー認定事業	地域共生社会を支える人財の一員となるよう、地域で子育て支援等に従事する方や関心を持たれる方に、必要な研修を行い、修了者を「うべ子育てパートナー」に認定する。	こどもが健やかに成長できる環境や体制が確保されるよう、子ども・子育て支援の担い手となる人材を育成確保することを目的に実施。目標数を養成・登録することができ、地域の子育て支援施設等で活動することができた。	宇部市こども支援課
		ボランティアセンター運営	ボランティアセンターの設置・運営により、個人の専門性や得意なことが活かせるように、ボランティアの発掘・育成を行うとともに情報マッチング・コーディネート機能を強化し、ボランティア活動をしやすい環境整備を行う。	ボランティアに関する相談対応、登録者へのボランティア情報の提供等により、地域住民のボランティアに対する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成、援助を行い、地域福祉の向上につながった。	宇部市社会福祉協議会
		ボランティア団体等の活動促進	ボランティア活動の振興を図るために、ボランティア団体・NPO等の活動を支援する助成金の交付等を行う。	研修会の開催や本会ホームページでの情報発信、活動費の助成、活動運営への助言等によりボランティア団体の活動支援を行い、ボランティア活動の維持・発展につながった。	宇部市社会福祉協議会
		ボランティア活動の啓発	ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、ボランティア団体の活動周知・仲間づくりの支援を行い、活動への参加促進を図る。	災害、傾聴など様々なテーマでボランティア講座を開催することで、ボランティア活動の啓発、ボランティア意識の醸成、ボランティア活動者の増加につながった。	宇部市社会福祉協議会
		チームオレンジの設置	認知症サポーター等の認知症に対する理解の深化や支援体制の向上を図り、認知症の人やその家族に対して積極的な支援をチームとして取り組み、活動を推進する。	取組件数は徐々に増えている。認知症カフェや認知症SOS模擬訓練等の企画運営への参画など、多岐に渡って取り組んでおり、認知症に関する理解促進と地域支援力の向上につながった。	宇部市高齢福祉課
		共同募金運動の推進	住民参加により寄付金を募り、社会福祉事業、更生保護事業その他の社会福祉を目的とする事業を経営する者に配分し、地域福祉の推進を図ります。また、本運動を通じて支え合い助け合いの意識醸成を図る。	宇部市共同募金委員会事務局として、山口県共同募金会が定める諸計画に基づき、募金・助成・広報等の活動を毎年、10月1日から3月31日の期間実施した。	宇部市社会福祉協議会
	2 ― 2 活躍の場がある	シルバー人材センターとの連携	60歳以上の働く意欲のある健康な人に対し、軽易な就労の機会を提供するシルバー人材センターの会員の介護予防・生活支援サービスの受け皿としての活動を推進する。	介護予防・生活支援サービスの受け皿としての活動の推進につながった。	宇部市高齢福祉課
		老人クラブとの連携	会員相互の援助活動や積極的な社会奉仕活動、また、自らの健康増進や介護予防を実践する老人クラブの会員が、地域においてもそれらを実践し、介護予防・日常生活支援総合事業の担い手としての参加促進など地域で活躍できるように連携する。	老人クラブの各種活動の推進に繋がった。	宇部市高齢福祉課
		文化体育事業等開催助成事業	障害者の文化活動等の促進を図るために開催される各種事業について開催経費の一部を助成する。	障害者に対する市民の理解の促進及び障害者の社会参加の推進を図るため、レクリエーション活動や芸術文化事業を実施している団体を支援した。	宇部市障害福祉課

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
2 誰もが参加し、 支援しあえる地域づくり	2 ― 2 活躍の場がある	社会参加促進事業	地域で障害者等との交流の場づくりや支援活動に取り組む地域活動団体へ支援を行う。	障害者に対する市民の理解の促進及び障害者の社会参加の推進を図る事業を実施している団体を支援した。	宇部市障害福祉課
		地域子育て支援拠点事業	乳幼児とその保護者が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中での交流や情報交換、育児相談を行う場として、神原保育園及び市内各所に子育て支援センターを設置し、保護者の子育てに対する不安や負担感の緩和を図る。	子育て支援センターや民間の子育て支援ひろばの機能の充実を図り、保護者の子育てに対する不安や負担感の緩和につなげた。（子育て支援センター6か所、民間子育て支援ひろば2か所）	宇部市こども政策課
		若者の居場所づくりの推進	中高生が家庭や学校以外に安心して自由に過ごせる居場所を設置し、相談員が悩みごとや困りごとなどの相談に応じるとともに、若者同士の交流や活躍の場の創出を通じて、若者の社会参画の促進を図る。	令和4年5月に、それまで福祉ふれあいセンター（当時：多世代ふれあいセンター）にあった「若者ふりースペース」と「若者ほっとカフェ」を商業施設であるボスティビルドに統合移転した。移転に伴って、利用者が大幅に増加した。また、令和6年度からは運営を事業者に委託し、大学生などのユースワーカーを配置したことなどによって、さらに利用者が増加した。	宇部市こども政策課
		バリアフリー化改修工事への助成	建築物の改修を行う事業主等に対し、バリアフリーを目的とした建築物の整備に要する費用の一部を助成することにより、建築物の利用上の利便性及び安全性の向上を図り、もって障害の有無、年齢及び性別等にかかわらず様々な人々の自立と社会参加を促進する。	費用の関係からバリアフリー化の改修工事が困難な、小規模店舗等について、入口やトイレの改修工事への助成を行う事により、様々な人が利用しやすい環境を整えた。	宇部市障害福祉課
		地域移行促進事業	地域での生活を希望する施設入所者等が、地域で自立して安心して暮らせるように、関係機関が連携して、地域生活への移行や定着を支援する。	地域移行支援事業及び地域定着支援事業の実施や、病院内地域連携室などとの連携により、施設入所者等の地域移行を促進した。	宇部市障害福祉課
		地域であんしん見守り愛ネット	高齢者が、周囲と交流がなく地域との関わりを持たない「社会的孤立」状態によって起こる「孤独死」や認知症の徘徊による外出で行方不明になる問題を防ぎ、高齢者が安全で、安心して生活することができる地域社会を推進する。	協力事業者数は増加しており、地域の見守り体制が強化された。	宇部市高齢福祉課
		コミュニティ・スクールの推進	学校の運営に地域の声を生かすとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、子どもたちをともに育てていく仕組みを推進する。	全ての学校運営協議会で学校や地域の課題解決のための熟議に児童生徒が参加し、多様な意見を取り入れた。	宇部市教育委員会 社会教育課
		放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に公共施設等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で、子どもたちを見守り育んでいく。	屋外での天文教室や英語教室、プログラミング教室など、活動内容の充実を図りながら、様々な特色ある教室の開催を支援した。	宇部市教育委員会 社会教育課
		バリアフリー化の促進（再掲）	宇部市バリアフリー化マスタープランに基づき、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進する。	・宇部市バリアフリー化マスタープラン等に基づき、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を推進した。 ・バリアフリー関連事業の各課の実施状況を宇部市バリアフリー化推進連絡協議会で報告・情報共有した。	宇部市障害福祉課
		地域創生事業への助成	各地域の特性に応じた自主的な地域づくりを進めるため、地域運営組織（地域づくり協議会、コミュニティ推進協議会等）等が実施する地域の課題解決及び活性化に資する取り組みで、かつ、地域の新たな魅力創出など地域資源を活かすための地域計画重点事業を支援する。	各地域の特性に応じた自主的な地域づくりを進めるため、地域運営組織（地域づくり協議会、コミュニティ推進協議会等）が実施する地域の課題解決及び活性化に資する取組に助成を行い、各地域での取組の持続につながっている。	宇部市市民活動課
		地域公益活動の推進	福祉課題が複雑化・多様化する中で、社会福祉法人の本旨に基づき、地域のニーズに対して主体的に取組み、地域社会で必要とされる存在として力を発揮していくことが求められています。このような背景の中で、市内の社会福祉法人は、相互に連携・協働して、制度の狭間にある地域の福祉課題の解決に向け、地域公益活動に取り組めます。	宇部市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の事務局として、地域公益活動を促進することにより、社会福祉法人が、相互に連携・協働して、制度の狭間にある地域の福祉課題への取り組みを進めた。	宇部市社会福祉協議会
		地域づくりへの助成	住民主体による地域課題の解決に向けた新たな取組や活動を実施する地区社会福祉協議会、地域団体に対し、助成金を交付し、地域福祉活動の促進を図る。	住民主体による地域課題の解決に向けた新たな取組や組織の創出等地域福祉活動の促進につながった。	宇部市社会福祉協議会

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
3 住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていける仕組みづくり	3 ― 1 必要とする支援やサービスが受けられる	介護予防・生活支援サービスの確保	高齢者の在宅生活を支えるために、訪問型サービスや通所型サービスについて、介護サービス事業者や多様な主体によるサービスの確保に努める。	サービス件数は増加傾向にあり、在宅生活を支えるサービス提供体制は充実した。	宇部市高齢福祉課
		介護サービスの充実	住み慣れた地域での在宅療養生活の支援を強化するため、地域密着型サービスの充実を図る。	宇部市高齢者福祉計画（3か年）に基づき、整備した。	宇部市介護保険課
		「やまぐち結婚応援センター」支援事業	結婚につながる出会いや交流の場づくりを行う県の結婚応援施策を支援する。	県が設置している「やまぐち結婚応援センター」の会員募集や、マッチングイベント、婚活イベントの周知を行った。	宇部市こども政策課
		ファミリー・サポート・センター事業	子育てを手伝ってほしい方（依頼会員）と手伝いたい方（提供会員）相互援助活動に関する連絡・調整を行います。	子育てを手伝ってほしい会員と子育てを手伝いたい会員のマッチングを行い、会員相互の援助活動の橋渡しを行った。	宇部市こども政策課
		地域子育て支援拠点事業（再掲）	乳幼児とその保護者が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中での交流や情報交換、育児相談を行う場として、神原保育園及び市内各所に子育て支援センターを設置し、保護者の子育てに対する不安や負担感の緩和を図る。	子育て支援センターや民間の子育て支援ひろばの機能の充実を図り、保護者の子育てに対する不安や負担感の緩和につなげている。（子育て支援センター6か所、民間子育て支援ひろば2か所）	宇部市こども政策課
		地域学童保育（放課後児童健全育成事業）	放課後の留守家庭の児童に対し、家庭や小学校などと連携しながら、適正な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図る。	余裕教室の活用や専用施設の整備などにより、定員の増加ができ、適正な遊びと生活の場を提供することができた。	宇部市保育幼稚園課
		地域・保健福祉支援チーム	地域への巡回や話し合いを通じて、住民の自主的・主体的なまちづくりや地域課題の解決に向けた取り組みを支援します。人材発掘や育成による地域の新たなネットワークづくりにも取り組み、自立した地域運営基盤の確立を促進する。	地域団体や関係機関等と協働し、地域課題の解決に向けた協議・支援を実施。地域のネットワークづくりにも取組み、地域の支え合いの仕組みづくりを支援している。	宇部市健康増進課
		地域計画による地域づくり	各地域が主体となって、地域活動の基本となる「地域計画」を策定し、地域運営団体（コミュニティ推進協議会、地域づくり協議会等）が地域づくりを推進します。地域計画では、プロジェクト事業として「安心安全」「見守り支え合い」について各地域の課題を踏まえ、取り組みを進める。	各地域が主体となって、地域活動の基本となる「地域計画」を策定し、見直しを行いながら、地域運営団体（コミュニティ推進協議会、地域づくり協議会等）が地域づくりを推進した。地域計画では、プロジェクト事業として「安心安全」「見守り支え合い」について各地域の課題を踏まえ、取組を進めた。	宇部市市民活動課
		地域支え合いの推進	地域支え合い包括ケアシステムの構築に向け、生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の活動への参加促進を図ります。関係機関と連携した支援により、地域支え合い会議の開催、助け合い活動やサロン活動の実施、認知症SOS訓練等の拡充を図る。	多様な地域資源を活用しながら、介護予防や生活支援等に係るサービスのコーディネートを行った。また、第1層・第2層協議体の運営支援を行い、地域支え合い包括ケアシステムの基盤体制を整備した。	宇部市地域福祉課
		民生委員による高齢者等の見守り活動	住民の実態や福祉ニーズを日常的に把握し、住民一人ひとりが自分に合った福祉サービスが受けられるように、行政機関、施設・団体などにつなぎ、住民の福祉需要に対応した適切なサービスの提供が図れるように支援する。	身近な地域において、相談や困りごとを抱えた人に支援を行い、行政や宇部市社会福祉協議会、関係機関・団体などと連携した支援活動を行った。	宇部市地域福祉課
		福祉委員活動の推進	地域福祉課題に目を配り、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を図るため、小地域における地域福祉活動を進める福祉委員を設置する。	小地域における地域福祉活動を進める福祉委員を設置することで、見守り体制の充実、地域福祉人材の育成等につながった。	宇部市社会福祉協議会
		ふれあいのネットワークづくり運動の推進	支援を必要とする個人あるいは世帯を把握し見守りや支援を行うこと、民生委員、近隣住民、自治会役員、福祉委員、専門職等地域の関係者がネットワークをつくり、地域での支援体制の確立を図ることを目的に実施。	民生委員が中心となり、近隣住民、自治会役員、福祉委員、専門職等地域の関係者がネットワークをつくることで、支援を必要とする個人あるいは世帯を把握し、見守りや支援、地域での支援体制の確立につながった。	宇部市社会福祉協議会
		地区社会福祉協議会活動への支援	住民主体の理念のもと「誰もが安心して暮らすことのできる地域」を創ることを目的に、地域福祉や生活の課題に対し解決策を実践する地区社協に対し、宇部市地区社会福祉協議会連絡協議会の運営や補助金等により、小地域福祉活動を支援する。	宇部市地区社会福祉協議会連絡協議会の運営、各地区への活動助成や伴走支援等により、小地域福祉活動の推進につながった。	宇部市社会福祉協議会
		地域であんしん見守り愛ネット	高齢者が、周囲と交流がなく地域との関わりを持たない「社会的孤立」状態によって起こる「孤独死」や認知症を原因とした徘徊による外出で行方不明になる問題を防ぐなど、高齢者が安全で、安心して生活することができる地域社会を推進する。	協力事業者数は増加しており、地域の見守り体制が強化された。	宇部市高齢福祉課
		子どもの居場所づくり推進事業	様々な状況に置かれている子どもたちが、気軽に集い憩うことができる子ども食堂などの子どもの居場所づくりを、県をはじめとした関係機関と連携して支援する。	こども食堂の開設・運営に関する相談があった際は、山口県こども食堂支援センターを案内するなど、各種情報提供を行った。	宇部市こども政策課

第二次宇部市地域ふくしプラン関連主要事業実績一覧

資料4

基本目標	取組の柱	事業名等	概 要	事業実績(効果)	取組の主体
3 住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていける仕組みづくり	3 ― 2 いのちを支える支援を充実させる	生活困窮者の自立支援	就労できない、住居がない、収入がない、負債がある等の悩みを抱えた相談者に対して、生活相談サポートセンターうべで生活と就労に関する相談員が、包括的な相談支援を行い、相談者に応じた自立に向けたプランを作成し、関係機関と連携して支援を行う。	相談件数はコロナ禍を経てから減少傾向にあり、支援者間での連携がスムーズになったことから課題解決率が増加した。	宇部市地域福祉課
		中学生の学習支援	生活困窮世帯の中学生に対し、学習会の開催や体験学習を行い、高校進学のための学力向上を図るとともに、子どもの社会的な居場所づくりとしての支援を行う。	令和2、3年度は市内5か所、令和4年度からは市内6か所で実施している。参加した中学3年生の高校進学率は、令和3年度の94.4%（合格者17人／受験者18人）を除き、100%となった。	宇部市こども政策課
		生活福祉資金の貸付	低所得世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進などを目的に、資金の貸付と必要な援助指導を行う。	低所得世帯をはじめ、高齢者世帯、障害者世帯で返済が可能な相談者に対し貸付を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長につながった。また生活相談サポートセンターうべと連携し、返済の見立てや家計の相談・改善支援など行うことにより、生活再建に向けた支援を提供することができた。	宇部市社会福祉協議会
		フードバンク	まだ食べることができるのに、嗜好に合わないものや買いすぎて使いきれないものなどを集めて、必要としている人につなぐことで、食べ物の有効活用を図るフードバンク事業をNPO法人フードバンク山口と連携して実施する。	昨今の物価上昇、特に食料品の値上がりにより、家庭や事業所からの未使用食品の回収が減少したことで要支援者への配布が減少している。	宇部市地域福祉課
		虐待防止・権利擁護の推進	地域ネットワーク（見守り・気づき・助け合い）を推進し、虐待の起こらない地域づくりに取り組む。	令和6年4月こども家庭センターを設置し周知もしており相談件数は増加している。また、支援者の連携も進んでおり、見守り体制も強化されているため、支援者からの相談も増えている。各種見守りを推進し、虐待の起こらない地域づくりに貢献した。	宇部市こども支援課 宇部市高齢福祉課
		DV等被害者への支援	多様かつ複雑化してきている相談に対して、宇部市配偶者暴力相談支援センターにおいて、きめ細やかな対応を行う。 また、「宇部市DV防止支援ネットワーク」における関係機関との連携を強化しながら、被害者の速やかな支援に向けたワンストップでの対応を行う。	相談件数はここ数年、900件を超えており、DV以外の相談事も多い状況である。多方面での支援が必要な場合等、「宇部市DV防止支援ネットワーク」における関係機関と連携を取り、被害者の速やかな支援を実施した。	宇部市人権・男女共同参画推進課
		地域福祉権利擁護事業の推進	認知症や知的障害、精神障害等により判断能力に不安のある人が、自立し生活が送れるよう、福祉サービスの利用等生活についての相談や日常的な金銭管理の支援を行う。	事業を通じて、利用者本人の意思決定支援や本人の抱える複合的な生活課題の解決につながった。また、権利擁護支援への入り口としての役割や地域のネットワークづくりとしての役割を果たした。	宇部市社会福祉協議会
		法人成年後見人等の受任	認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない方に対し、日常生活を法律的に保護する制度に基づき、地域で安心して自立した生活がられるよう支援を行う。	宇部市における権利擁護の推進を図るため、法人成年後見人等受任事業を実施し、判断能力が不十分な方への継続的な支援を行った。また、親族が後見人の申立てを行う場合、手続きの煩雑さや精神的な負担軽減のため市社協が手続等の相談を行い制度の利用促進を図った。	宇部市社会福祉協議会
		再犯防止の推進	再犯防止に向け、犯罪をした人が社会復帰をした後に、社会での孤立、地域での生きづらさを感じることがないように、保護司会が運営する「更生保護サポートセンターうべ」と連携し、更生に関する理解を深めるための啓発活動や、福祉的支援に取り組む。	再犯防止計画に基づき、関係機関と連携し、広報・啓発活動、就労支援や住居の確保、福祉的支援を行い、犯罪をした人等が、地域社会において孤立することなく、地域社会の一員として円滑に復帰することができる環境を整備することを通じて、市民の犯罪被害を防止	宇部市地域福祉課
		自殺対策	市民一人ひとりが「いのちをまもる」ための自殺対策の主役となり、地域や関係機関とのつながりを持ち、社会全体で自殺リスクを低下させるよう、地域レベルの実践的な取組を推進する。（ゲートキーパー養成、相談等）	第一次宇部市自殺対策計画に基づき、こころの健康や地域での支えあい等に関する研修をR5年度までに市内24地区で実施し、地域の見守りの人材が増加し、身近な人による見守りや声掛けを推進した。	宇部市健康増進課
		誰もが安心して避難できる避難所づくり	近年、各地で台風や豪雨による災害が多発する中、コロナ禍において、感染症対策用の備蓄品の確保とともに、避難者・避難所従事者の健康にも留意した避難所運営に取り組めます。安心して避難していただくために、障害者やペット同行者、ジェンダー等に配慮した避難所運営を進める。	コロナ禍に対応するためマスクやアルコール消毒液等の衛生物品を各避難所に配備するとともに、体調不良者や要配慮者の状況に応じた避難所レイアウトを想定した。また、ペット同行、ジェンダーへの配慮を運営マニュアルに盛り込み、各地区避難拠点要員にも説明会で周知を図った。	宇部市地域福祉課
		福祉避難所の体制整備	高齢者、障害者や一般の避難所での避難生活に支障をきたす方やその介護者を受け入れる避難所です。今後は、避難対象者と福祉避難所のマッチングを行い、直接避難に向けた取り組みを進める。	福祉施設側と避難者受入について意見交換を行った。直接避難を可能にするための課題を市と施設で共有した。	宇部市地域福祉課
		災害支援体制の整備	災害ボランティアセンターに関する研修により災害ボランティアセンター運営スタッフの養成や新たな人材の発掘・育成を行うとともに、市内外のボランティア団体とのネットワーク体制を構築する。	研修の実施とともに、令和5年度、令和6年度は市内で被災された世帯に対して、ボランティアによる支援を行った。 また、令和3年度に長門南部地区郵便局長会、令和4年度に市内7ライオンズクラブ、令和6年度に株式会社ダイナムと災害時の連携に関する協定を締結した。	宇部市社会福祉協議会
		小中学校の耐震化	児童生徒の安心・安全な教育環境を確保するため、小中学校施設の耐震化を図るとともに、校舎・体育館の長寿命化を進めます。なお、体育館の建て替えにあたっては、災害時における避難所としての活用も考慮し、防災機能の強化に取り組む。	未耐震の体育館の建て替えを進めた結果、令和6年度末で小中学校施設の耐震化が完了した。 また、建て替えにあわせて、体育館の防災機能を強化するとともに、校舎等の長寿命化改修を計画的に進めることで、安心・安全な教育環境を確保した。	宇部市教育委員会 教育施設課